

平成26年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成27年3月

鹿児島市（鹿児島県）

○計画期間：平成25年4月～平成30年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成26年度終了時点（平成27年3月31日時点）の中心市街地の概況

平成26年度の本市の景気は、緩やかな回復基調が続いているが、雇用の面など全国に比べて厳しい状況もある。

4月の消費税率引き上げ後の駆け込み需要の反動減や天候不順などにより個人消費が厳しい中、中心市街地の事業者においては、計画した事業の推進を図り、活性化に努めた。

取組の概要としては、「中央町1番街区等商業活性化事業（アミュプラザ鹿児島の増床など）」により、9月にプレミアム館（地上8階建、店舗面積約5,000㎡、全19店舗）がオープンし、多くの来街者でにぎわった。

「加治屋町回遊空間整備事業（清滝川の歩行空間整備）」により、鹿児島中央駅からいづろ・天文館地区への歩行空間の整備が27年3月に完了するとともに、コミュニティサイクル「かごりん」も同月供用開始し、中心市街地内を自転車で回遊できる機能が追加された。

また、県内特産品や名産品を専門に取り扱うアンテナショップとして「かご市」や「ゆめりあ」が空き店舗に出店し、商店街における新たな魅力となった。

さらに、県内外の情報関連産業やコールセンター等3社の立地により、新規雇用の創出が図られた。

J T跡地においては、「鹿児島市立病院建設事業」、「J T跡地緑地整備事業」、「交通局電車施設整備事業」の3つの事業が計画どおり3月に完了し、上町・ウォーターフロント地区においては、「鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業（公園・地域生活基盤施設）」で、27年度の整備工事着手に向け、広場等の実施設計や用地取得などを行った。

その他、「新船建造事業（環境にやさしい新船の建造）」により、桜島フェリーの新船「サクラフェアリー」が竣工したほか、いづろ・天文館地区と鹿児島中央駅地区の大型商業施設連携の取組として、両地区を行き来する買い物客に市電の片道チケットを贈る合同イベント「まち den クリスマス」も実施されるなど、民間による独自の取組も展開された。また、年間を通した各種イベントの開催や、国内外での観光PR・誘客活動にも引き続き取り組んだ。

これらの取組の結果、鹿児島中央駅地区では、集客機能を有する商業施設の増床の効果により、歩行者通行量が前年を大きく上回るなど、にぎわいづくりが進んだ。

一方、いづろ・天文館地区においては、26年2月に供用開始したアーケードの効果もあり、一部商店街では歩行者通行量が増えるなどしたが、全体としては厳しい経済情勢や郊外の大型商業施設増床等による影響が大きかった。

2. 平成 26 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成 26 年度の基本計画の進捗については、目標数値による定量的な判断と関係者からのアンケートによる定性的な意見を踏まえて検討した。

「本基本計画に盛り込まれた事業は概ね順調に進捗し所期の効果に迫っているものの、エリア全体としては、地区別・地区内格差が散見される。現状は事業の波及効果が、中心市街地全体のボトムアップ（底上げ）に止まり牽引力に至っていない」と評価する。

地区別の取組状況をみると、鹿児島中央駅地区は交通基盤整備を背景として商業施設及び立体駐車場の増築もあり、来街者の増加に大きく寄与した。歩行者通行量も平成 25 年度より大幅に増加し、中心市街地 3 地区のなかでは最もにぎわいをみせた。

いづろ・天文館地区は、平成 26 年 2 月の照国表参道アーケードの完成や商店街等のイベント等の事業効果も影響し、一部の通りでは歩行者通行量が増加している。しかしながら、同地区全体の歩行者通行量は、2 年連続低下しており、今後のにぎわいの回復に新たな対応を迫られている。

上町・ウォーターフロント地区では、「かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会」やドルフィンポートでのイベント開催等により、週末を中心に一時的なにぎわいをみせたものの、恒常的ににぎわいを創出するには至っていない。同地区は、活性化に寄与する事業が乏しい状況が継続しており、地区の将来に係る明確なビジョンが求められる。

今後は、基本計画掲載事業を着実に実行すると共に、まだ計画に盛り込まれていない公有未利用地などの活用の具体化、更には活性化に寄与する事業を構想・実現していくことが必要である。またこれらを推進するに当たっては、本協議会や商業者及び地元住民等との協議・調整を行うなど幅広く議論を喚起することが必要である。

更に基本計画の強力な推進と中心市街地の更なるにぎわい創出に向けては、インフラ等も含めてエリア別にまちづくり戦略の検討・構築を行い、且つ事業効果を最大化するため官民一体となって取り組むことが重要である。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
街なかのにぎわい創出と回遊性の向上	歩行者通行量(30 地点、土日) (人/日)	165,664 (H24)	171,000 (H29)	160,300 (H26)	③	③
都市型観光の振興	中心市街地の年間入込観光客数(人)	7,762,000 (H23)	8,100,000 (H29)	7,858,000 (H25)	-	①
商業・業務機能の集積促進	第三次産業の従業者数(人)	62,939 (H21)	64,000 (H29)	60,562 (参考値:H24)	平成 27 年度 フォローアップ	

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①歩行者通行量

平成26年の歩行者通行量は160,300人と、基準値である24年より5,364人減少したものの、昨年より7,593人増加し、16万人台に回復した。

「中央町1番街区等商業活性化事業(アミュプラザ鹿児島増床など)」により9月にオープンしたアミュプラザ鹿児島のプレミアム館には多くの来館者が訪れ、鹿児島中央駅地区の歩行者通行量を押し上げる結果となったが、いづろ・天文館地区については昨年とほぼ変わらない結果となった。

今後については、中心市街地の回遊性向上を図る取組として、27年3月にコミュニティサイクル「かごりん」が供用開始し、外国人観光客等のまち歩き環境の向上を図る「いづろ・天文館地区ICTインフラ整備・情報発信事業」による公衆無線LANの運用も始まったこと、また、27年度からは魅力や賑わいを強化するために、「鹿児島フルマラソン(仮称)開催事業」「天文館ミリオネーション(仮称)開催事業」等の7事業を新たに実施し、街なかへの更なる来街を促すこととしていることから、歩行者通行量の目標達成は可能であると見込んでいる。

②中心市街地の年間入込観光客数

平成25年の中心市街地の年間入込観光客数は785万8千人で、23年の基準値から9万6千人増加し、目標達成に向けて順調に推移している。

26年度は、「中央町1番街区等商業活性化事業(アミュプラザ鹿児島増床など)」で、9月にアミュプラザ鹿児島のプレミアム館がオープンしたことや、新たに実施した薩摩維新ふるさと博など各種イベントの実施により、市内外からの多くの来街者を

集めた。

また、国内外での観光プロモーション活動を通じて観光客誘致にも努めたほか、中心市街地内の観光施設等4か所において無料Wi-Fiサービスを開始するなど、新たな観光振興策も着実に実施する中で、鹿児島地区における主要宿泊施設の26年宿泊客数は、依然高い水準で推移している。

これまでの交流人口拡大への取組により、年間入込観光客数は増加傾向にあることや、観光客受入に係る環境整備が整いつつあること、また、27年度は「鹿児島フルマラソン（仮称）開催事業」「天文館ミリオネーション（仮称）開催事業」等の事業を新たに実施する予定であることから、中心市街地の年間入込観光客数の目標達成は可能であると見込んでいる。

③第三次産業の従業者数

26年度は、「中央町1番街区等商業活性化事業（アミュプラザ鹿児島の増床など）」や「都市型産業振興事業」により約500人の雇用が創出された。

また、26年度の鹿児島公共職業安定所管内の有効求人倍率は、0.73～1.06倍（4月～2月）と昨年度より改善しているが、全国に比べると厳しい状況である。

今後については、「街なか空き店舗活用事業」による新規出店、「都市型産業振興事業」による情報関連産業やコールセンターなどの企業立地等により第三次産業の従業者の増が見込まれる。新規学卒者の就職内定率も高水準で推移するなど、雇用環境は改善傾向にあることから、第三次産業の従業者数の目標達成は可能であると見込んでいる。

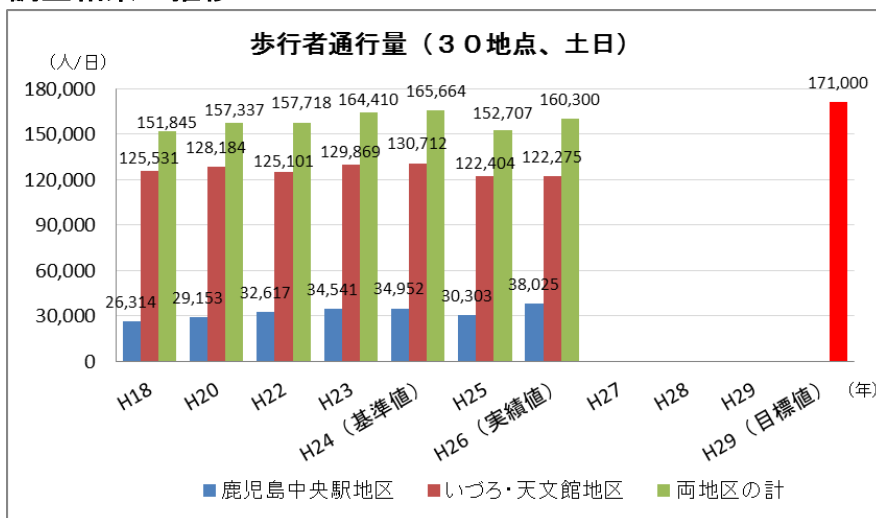
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップと見通しは変更していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P58～P62 参照

●調査結果の推移



年	(単位: 人/日)
H24	165,664 (基準年値)
H25	152,707
H26	160,300
H27	
H28	
H29	171,000 (目標値)

※調査方法：歩行者通行量調査（毎年度 10 月実施）

※調査月：平成 26 年 10 月

※調査主体：鹿児島市

※調査対象：土・日曜日 30 地点の歩行者及び軽車両歩行者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 中央町 19・20 番街区市街地再開発事業（中央町 19・20 番街区市街地再開発準備組合）

事業完了時期	【未】平成 30 年度
事業概要	鹿児島中央駅の駅前という立地条件を生かし、中央町 19・20 番街区を一体的に活用して、商業・業務・公益施設、共同住宅、駐車場を備えた再開発ビルを整備。
事業効果又は進捗状況	26 年度は都市計画決定に向けた地元案の作成に必要となる、道路管理者や警察など関係機関との協議・調整を行った。

②. 中央町 1 番街区等商業活性化事業（アミュプラザ鹿児島の増床など）（九州旅客鉄道株式会社）

事業完了時期	【済】平成 26 年度
事業概要	鹿児島中央駅の駅ビルという立地を生かし、中心市街地内の核店舗の一つとして大きな集客機能を有するアミュプラザ鹿児島において、商業施設及び立体駐車場を増築。
事業効果又は進捗状況	26 年 9 月にプレミアム館オープン。改装オープンした本館と合わせ、多くの来街者が訪れるなど、街なかのにぎわい創出に大きく寄与している。また、約 300 人の雇用が創出された。

③. 東千石町 1 2 番街区整備事業（岩崎産業株式会社、財団法人岩崎育英文化財団）

事業完了時期	【未】平成 28 年度
事業概要	いづろ・天文館地区において、電車通りに接する立地を生かして、小売・飲食の商業機能と郷土出身の偉人や画家の書画を展

	示する美術館や多目的広場を併設する複合施設を整備。
事業効果又は進捗状況	26年度は、事業計画の再検討を行うとともに、整備予定地にある既存建物の撤去に向けて、入居するテナントとの退店交渉及び退店手続を行った。

④. 鹿児島市立美術館施設整備事業（鹿児島市）

事業完了時期	【未】平成28年度
事業概要	市立美術館の建物・機械・電気機器等の機能更新を行うとともに、ミュージアムショップや前庭を活用したオープンカフェ等を設置。
事業効果又は進捗状況	27年度に建物・機械・電気機器等の機能更新やオープンカフェ設置のための実施設計を行うために、26年度は関係機関等との協議を行うとともに、特別企画展開催期間中に美術館前庭にパラソルを設置して利用状況を調査した。

⑤. 天文館シネマパラダイスと周辺商店街との連携（株式会社天文館、周辺商店街）

事業完了時期	【実施中】平成24年度～
事業概要	商店街等と映画館の相互協力により、いづろ・天文館地区への来街者に対して、映画鑑賞チケットの半券を活用した「半券バリュー」などのサービスを提供するほか、毎月10日のテンパデーにあわせ、周辺商店街において、映画観賞者の駐車場料金無料の時間延長や各種イベント等を連携して実施。
事業効果又は進捗状況	26年度の映画館の年間利用者数は14万3,701人と前年度とほぼ変わらなかった。商店街の80店と引き続き連携し、各店で商品の割引やソフトドリンクの無料追加等の取組を実施するなど、にぎわいづくりに努めている。なお、地下道で繋がっていて、映画館と提携している駐車場セラ602の直近の利用台数は、前年度比約3.4%増の34万9,852台（25年度）であった。

⑥. 街なか空き店舗活用事業（鹿児島市）

事業完了時期	【実施中】平成27年度
事業概要	商店街等が空き店舗を活用してテナントミックスやチャレンジショップを行い、新たな魅力を有する店舗を出店させる取組に対して、家賃補助等の助成を行う。
事業効果又は進捗状況	空き店舗への出店者を募集し、26年度は2店舗が開業した。また、24年度からの継続分を含めて、計7店舗に整備経費や借上経費等を助成した。

⑦. 加治屋町回遊空間整備事業（清滝川の歩行空間整備）（鹿児島市）

事業完了時期	【済】平成26年度
事業概要	水路整備、修景整備、L=100m
事業効果又は進捗状況	27年3月に鹿児島中央駅からいづろ・天文館地区への歩行空間の整備が完了し、回遊性の向上が図られた。

⑧. 交通局電車施設整備事業（鹿児島市）

事業完了時期	【済】平成26年度
事業概要	交通局電車施設の機能拡充
事業効果又は進捗状況	27年3月に整備が完了し、5月の供用開始後は、市民に親しまれる施設となるよう、資料展示室を活用した見学コースを設定するほか、電車運転体験を実施するなど、来街者を増やす取り組みを推進することとしている。

⑨. J T跡地緑地整備事業（鹿児島市）

事業完了時期	【済】平成26年度
事業概要	J T跡地の緑地整備
事業効果又は進捗状況	27年3月に整備を完了し、市民や隣接する市立病院の来院者等が気軽に散策できる、緑豊かな魅力ある交流空間を創出した。

⑩. 【追加】コミュニティサイクル導入事業（鹿児島市）

事業完了時期	【済】平成26年度
事業概要	複数のサイクルポート（自転車貸出拠点）を配置し、どのサイクルポートでも貸出・返却ができるコミュニティサイクルを実施
事業効果又は進捗状況	27年3月よりコミュニティサイクル「かごりん」が供用開始。市民や観光客が、中心市街地内を自転車で機動的に、環境にもやさしく回遊できる機能が追加された。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成26年の歩行者通行量は160,300人と、基準値である24年より5,364人減少したものの、昨年より7,593人増加し、16万人台に回復した。

「中央町1番街区等商業活性化事業（アミュプラザ鹿児島の増床など）」により9月にオープンしたアミュプラザ鹿児島のプレミアム館には多くの来館者が訪れ、鹿児島中央駅地区の歩行者通行量を押し上げる結果となった。

また、いづろ・天文館地区の中では、26年2月にアーケードが完成した照国表参道において、歩行者通行量が昨年に比べて大幅に増加するなど、事業の効果が見られた。

同地区におけるその他の商店街では、県内特産品や名産品を専門に取り扱うアンテナショップとして、鹿児島県商工会連合会が運営する「かご市」やかごしま市商工会が運営する「ゆめりあ」が空き店舗に出店したほか、南国の夏を灯ろうで彩る「天文

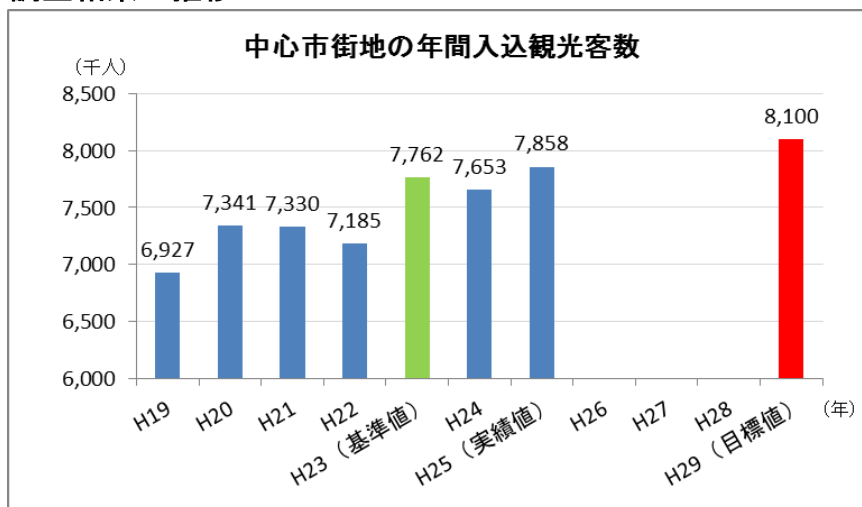
館燈ろう祭り」やアーケードの改修・LED化などのハード・ソフト各種事業を新たに実施したが、消費税率引き上げや夏場の天候不順による景気への影響、また、中心市街地外の大型商業施設の大規模なリニューアルの影響などを受け、地区全体では、降灰や台風等の影響により大幅減となった昨年とほぼ変わらない結果となった。

今後については、中心市街地の回遊性向上を図る取組として、27年3月にコミュニティサイクル「かごりん」が供用開始し、外国人観光客等のまち歩き環境の向上を図る「いづろ・天文館地区ICTインフラ整備・情報発信事業」による公衆無線LANの運用も始まったこと、また、27年度からは魅力や賑わいを強化するために、「鹿児島フルマラソン（仮称）開催事業」「天文館ミリオネーション（仮称）開催事業」等の7事業を新たに実施し、街なかへの更なる来街を促すこととしていることから、歩行者通行量の目標達成は可能であると見込んでいる。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地の年間入込観光客数」※目標設定の考え方基本計画 P63～P66 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H23	7,762,000 (基準年値)
H24	7,653,000
H25	7,858,000
H26	(27年度フォローアップ)
H27	
H28	
H29	8,100,000 (目標値)

※調査方法：観光統計調査

※調査月：1月～12月の実績を翌年8月に集計公表

※調査主体：鹿児島市

※調査対象：鉄道、バス、自家用車、船舶等の各種交通機関を利用した観光客

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 中央町19・20番街区市街地再開発事業（中央町19・20番街区市街地再開発準備組合）

【再掲】 P 5

事業完了時期	【未】平成30年度
事業概要	鹿児島中央駅の駅前という立地条件を生かし、中央町19・20番街区を一体的に活用して、商業・業務・公益施設、共同住宅、駐車場を備えた再開発ビルを整備。
事業効果又は進捗状況	26年度は都市計画決定に向けた地元案の作成に必要となる、道路管理者や警察など関係機関との協議・調整を行った。

②. 中央町1番街区等商業活性化事業（アミュプラザ鹿児島の増床など）（九州旅客鉄道株式会社）

【再掲】 P 5

事業完了時期	【済】平成26年度
事業概要	鹿児島中央駅の駅ビルという立地を生かし、中心市街地内の核店舗の一つとして大きな集客機能を有するアミュプラザ鹿児島において、商業施設及び立体駐車場を増築。
事業効果又は進捗状況	26年9月にプレミアム館オープン。改装オープンした本館と合わせ、多くの来街者が訪れるなど、街なかのにぎわい創出に大きく寄与している。また、約300人の雇用が創出された。

③. 東千石町12番街区整備事業（岩崎産業株式会社、財団法人岩崎育英文化財団）

【再掲】 P 5

事業完了時期	【未】平成 28 年度
事業概要	いづろ・天文館地区において、電車通りに接する立地を生かして、小売・飲食の商業機能と郷土出身の偉人や画家の書画を展示する美術館や多目的広場を併設する複合施設を整備。
事業効果又は進捗状況	26 年度は、事業計画の再検討を行うとともに、整備予定地にある既存建物の撤去に向けて、入居するテナントとの退店交渉及び退店手続を行った。

④. 鹿児島市立美術館施設整備事業（鹿児島市）

【再掲】 P 6

事業完了時期	【未】平成 28 年度
事業概要	市立美術館の建物・機械・電気機器等の機能更新を行うとともに、ミュージアムショップや前庭を活用したオープンカフェ等を設置。
事業効果又は進捗状況	27 年度に建物・機械・電気機器等の機能更新やオープンカフェ設置のための実施設計を行うために、26 年度は関係機関等との協議を行うとともに、特別企画展開催期間中に美術館前庭にパラソルを設置して利用状況を調査した。

⑤. 【追加】薩摩維新ふるさと博開催事業（鹿児島市）

事業完了時期	【実施中】平成 26 年度～
事業概要	幕末・維新期の薩摩を感じられるイベントの実施。
事業効果又は進捗状況	26 年 10 月～11 月の 18 日間で 12 万 8 千人が来場するなど、街なかのにぎわい創出に寄与した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 25 年の中心市街地の年間入込観光客数は 785 万 8 千人で、23 年の基準値から 9 万 6 千人増加し、目標達成に向けて順調に推移している。

25 年はディズニーキャラクター活用のスペシャルパレードを実施したおはら祭やかごしま錦江湾サマーナイト大花火大会、かごしま春祭などの大型イベントのほか、「歴史資源を活用したまちづくり推進事業」で薩英戦争 150 年をテーマにした薩英文化祭やバスツアー等を開催するなどの各種イベントの実施と、新たに結成した薩摩観光維新隊による全国各地での誘客活動や相次ぐ LCC の就航などが相乗効果を発揮した結果と考えられる。

26 年度については、「中央町 1 番街区等商業活性化事業（アミュプラザ鹿児島増床など）」で、9 月にアミュプラザ鹿児島のプレミアム館がオープンしたことにより、市内外から多くの来街者を集め、例年実施しているイベントのほか、新たに実施した薩摩維新ふるさと博には 12 万 8 千人が来場した。夏場の天候不順等はあったものの、鹿児島地区における主要宿泊施設の 26 年宿泊客数は前年並みと依然高い水準で推移している。

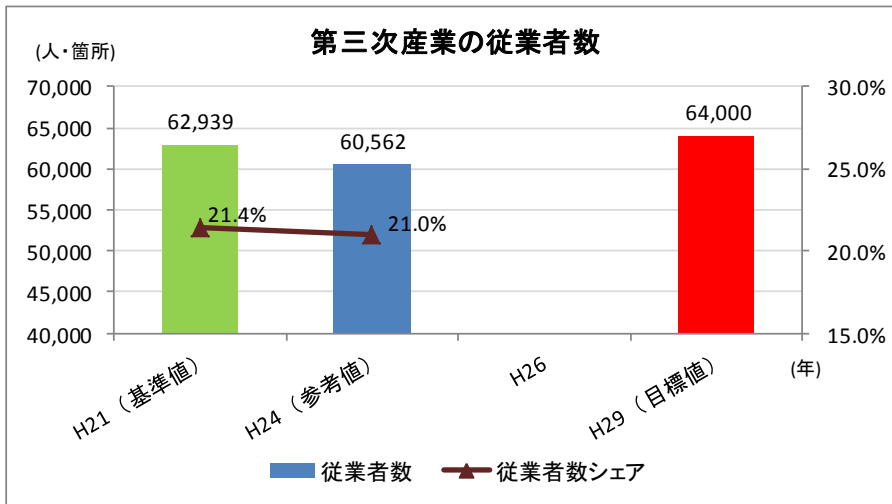
このような中、東京、大阪など県外都市において、本市のPRや修学旅行誘致活動を行ったほか、岡山、山口など4都市においては、テレビCM等によるメディアミックスを実施し、台湾や韓国など東アジア地域等においても観光プロモーション等を行うなど、観光客誘致に努めた。また、外国人観光客等のまち歩き環境の向上を図り、SNS等を使った本市の魅力の情報発信につなげるため、中心市街地内の観光施設等4か所において無料Wi-Fiサービスを開始するなど、新たな観光振興策も着実に実施した。

これまでの交流人口拡大への取組により、年間入込観光客数は増加傾向にあることや、観光客受入に係る環境整備が整いつつあること、また、27年度は「鹿児島フルマラソン（仮称）開催事業」「天文館ミリオネーション（仮称）開催事業」等の事業を新たに実施する予定であることから、中心市街地の年間入込観光客数の目標達成は可能であると見込んでいる。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「第三次産業の従業者数」※目標設定の考え方基本計画 P67～P69 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H21	62,939 (基準年値)
H24	60,562 (参考値)
H26	(27年度フォローアップ)
H29	64,000 (目標値)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 中央町 19・20 番街区市街地再開発事業 (中央町 19・20 番街区市街地再開発準備組合)

【再掲】 P 5

事業完了時期	【未】平成 30 年度
事業概要	鹿児島中央駅の駅前という立地条件を生かし、中央町 19・20 番街区を一体的に活用して、商業・業務・公益施設、共同住宅、駐車場を備えた再開発ビルを整備。
事業効果又は進捗状況	26 年度は都市計画決定に向けた地元案の作成に必要となる、道路管理者や警察など関係機関との協議・調整を行った。

②. 中央町 1 番街区等商業活性化事業 (アミュプラザ鹿児島の増床など) (九州旅客鉄道株式会社)

【再掲】 P 5

事業完了時期	【済】平成 26 年度
事業概要	鹿児島中央駅の駅ビルという立地を生かし、中心市街地内の核店舗の一つとして大きな集客機能を有するアミュプラザ鹿児島において、商業施設及び立体駐車場を増築。
事業効果又は進捗状況	26 年 9 月にプレミアム館オープン。改装オープンした本館と合わせ、多くの来街者が訪れるなど、街なかのにぎわい創出に大きく寄与している。また、約 300 人の雇用が創出された。

③. 東千石町 1 2 番街区整備事業 (岩崎産業株式会社、財団法人岩崎育英文化財団)

【再掲】 P 5

事業完了時期	【未】平成 28 年度
事業概要	いづろ・天文館地区において、電車通りに接する立地を生かして、小売・飲食の商業機能と郷土出身の偉人や画家の書画を展

	示する美術館や多目的広場を併設する複合施設を整備。
事業効果又は進捗状況	26年度は、事業計画の再検討を行うとともに、整備予定地にある既存建物の撤去に向けて、入居するテナントとの退店交渉及び退店手続を行った。

④. 街なか空き店舗活用事業（鹿児島市）

【再掲】 P 6

事業完了時期	【実施中】平成27年度
事業概要	商店街等が空き店舗を活用してテナントミックスやチャレンジショップを行い、新たな魅力を有する店舗を出店させる取組に対して、家賃補助等の助成を行う。
事業効果又は進捗状況	空き店舗への出店者を募集し、26年度は2店舗が開業した。また、24年度からの継続分を含めて、計7店舗に整備経費や借上経費等を助成した。

⑤. 都市型産業振興事業（鹿児島市）

事業完了時期	【実施中】平成11年度～
事業概要	ソフトプラザかごしまを活用した情報関連産業の育成・支援を行うとともに、本市の都市機能の集積を生かした企業立地の推進に取り組む。
事業効果又は進捗状況	26年度は中心市街地内に立地する6社と協定を締結（ソフトプラザかごしまへの入居は2社）。うち3社が26年度に操業開始し、2期計画が開始した25年度以降に協定を締結したその他の企業の26年度の取組もあり、約200人の雇用が創出された。

⑥. 交通局電車施設整備事業（鹿児島市）

【再掲】 P 7

事業完了時期	【済】平成26年度
事業概要	交通局電車施設の機能拡充
事業効果又は進捗状況	27年3月に整備が完了し、5月の供用開始後は、市民に親しまれる施設となるよう、資料展示室を活用した見学コースを設定するほか、電車運転体験を実施するなど、来街者を増やす取り組みを推進することとしている。

●目標達成の見通し及び今後の対策

26年度は、「中央町1番街区等商業活性化事業（アミュプラザ鹿児島島の増床など）」や「都市型産業振興事業」により約500人の雇用が創出された。

また、26年度の鹿児島公共職業安定所管内の有効求人倍率は、0.73～1.06倍（4月～2月）と昨年度より改善しているが、全国に比べると厳しい状況である。

今後については、「街なか空き店舗活用事業」による新規出店、「都市型産業振興事

業」による情報関連産業やコールセンターなどの企業立地等により第三次産業の従業者の増が見込まれる。新規学卒者の就職内定率も高水準で推移するなど、雇用環境は改善傾向にあることから、第三次産業の従業者数の目標達成は可能であると見込んでいる。